

活動報告

団体名	災害NGO 結
活動名	被災地域での生活再建のための被災者支援総合事業
活動期間	2019/10/14～2020/3/31
活動の成果	<p>被災家屋の復旧には、大まかに①家財搬出、②土砂撤去、③清掃、④壁や床などの撤去、⑤消毒、などの工程があります。④はある程度家屋の構造を分かっている、再建する業者や大工さんとの打ち合わせが必要になってきます。一般の災害VCでは技術などに不安があり取り扱えませんが、ここを業者依頼しない形にすると再建費用の負担が大きく減ります。本職の大工さんや、大工現場での経験がある人達に協力いただき約20件のニーズに対応することができました。金銭的な負担の軽減に加え、大勢の人間が手伝ったことで今後の復旧に対して前向きになる姿も見られました。また、住民の方との対話をしながら、ニーズを伺いながら活動を進めました。まだ家屋の再建について悩んでおられる方も多く、ニーズとして依頼すること自体に負い目を感じてられた人もいました。その場合も、活動で家の状態をキープすれば、今後の生活再建への選択肢が広がるという点を説明し、何件かは活動を実施しました。その後解体を選んでも、納得がいくまで自宅の再建について悩む選択肢を作るお手伝いができたと考えています。</p> <p>また11月後半から、集会所の仮復旧に向けた動きができました。そのため早い段階で、浸水した1階部分も使えるような状態にすることができました。被災した地区では金銭的な余裕がないところが多く、集会所が後回しになってしまいます。しかし今回は床や壁を簡易に復旧させるところまでお手伝いできたことで、地域の方が集まって話せる場所を設けることができました。実際に復旧した1階で炊き出しやサロンが開かれました。早期にコミュニティの場が復旧したことで、集まる機会の回復がされ、地域の方の孤独感を和らげ、避難生活でバラバラになりがちな地域コミュニティ維持に貢献できたと考えます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>赤い羽根を通じた、被災地へのご支援、本当にありがとうございます。毎年激甚災害が起こっていますが、被災地で活動する支援者や支援団体にとって、こうした助成プログラムはとても貴重な活動資金となります。こうした助成プログラムがあるから長期的に活動できる団体があります。義援金は金額通り被災者に、支援金は支援団体によって何倍にも膨らませられるという性質があります。長野市では、被災家屋の壁や床の撤去を何件も手伝いました。ボランティアで対応したことにより、数十万円の負担が減ったケースもあります。こうして現地で、実際に住民の方の負担を減らすことができたのは、長期的な活動ができたおかげです。そして後方から支援してくれる皆様のおかげに他なりません。いろいろな形のご支援、本当にありがとうございます。</p>

(活動のようす)

